



無縁としての島

近代日本最辺境における〈都市〉的社会性の生成

トカラ列島諏訪之瀬島。19世紀初めの大噴火によって人間の居住が一時途絶したこの島は、その後奄美大島からの政治亡命者たちによって再開拓され、さらに20世紀後半にはカウンター・カルチャーの中心地になるという、きわめて数奇な運命をたどってきた。最辺境であるはずのトカラ列島で、何故かいつも時代の最先端が漂着してきた諏訪之瀬島の謎に迫る！

社会学研究者(島嶼社会論)

橋爪 太作

話し手

会費

持てる者は持てるだけ (カンパ制)

場所

武蔵野市本町コミュニティセンター第一会議室 (3F)
東京都武蔵野市吉祥寺本町 1-22-2 / 吉祥寺北口 (JR 中央線・井の頭線) 徒歩 3 分 ヨドバシカメラ裏

参加 連絡

090-4713-1299 (稲垣一雄)
080-5085-2477 (橋爪太作)
info@tokarajuku.sakura.ne.jp

主催

文化結社トカラ塾 (<http://www.tokarajuku.sakura.ne.jp/>)

